

2023年11月24日

各位

東京都港区南青山三丁目11番13号
株式会社 TOKYO BASE
代表取締役 谷 正人
(コード番号: 3415 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 中水 英紀
電話番号 03-6712-6842

特別損失（減損損失等）の計上、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月24日開催の取締役会において、特別損失（固定資産の減損損失等）を計上するとともに、2023年3月15日付「2023年1月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した2024年1月期（2023年2月1日～2024年1月31日）の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 特別損失（固定資産の減損損失等）の計上について

当社の連結子会社である東百国際貿易（上海）有限公司（以下、中国現地法人）が運営する一部店舗の撤退方針の決議及び日本国内の一部店舗の固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失等315百万円（中国本土268百万円、日本47百万円）を特別損失に計上する見込みとなりました。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2024年1月期 通期連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 1,500	百万円 1,480	百万円 1,000	円 銭 21.80
今回修正予想 (B)	19,500	900	1,100	300	6.54
増減額 (B-A)	△ 500	△ 600	△ 380	△ 700	
増減率 (%)	△ 2.5	△ 40.0	△ 25.7	△ 70.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	19,181	215	265	△539	△11.76

(2) 修正の理由

当初の2024年1月期通期連結業績予想にあたり、日本は個人消費の回復及びインバウンド来店客数の増加による売上及び収益の回復、中国本土は上期から段階的な回復を見込んでおりました。現状、日本は当初の業績予想通りに推移しておりますが、一方で中国本土はゼロコロナ政策の解除後は一時的に回復が見受けられたものの、長引く不動産市場の低迷などによる先行き不透明な状況から個人消費が低調であります。

これらに伴い、中国現地法人の既存店舗の売上の回復が遅く、当初計画に比べ営業利益の黒字化が遅れております。

この状況をふまえて今後の中国本土の店舗戦略については、北京、上海、深圳の一級都市を中心とし、この度不採算店舗の撤退をすることといたしました。

これにより、当初の通期連結業績予想から大幅に業績が下回ることによる営業利益の悪化、不採算店舗の撤退による特別損失（減損損失等）の計上が予測され、2024年1月期通期連結業績予想を下方修正いたします。

3. 配当予想について

配当予想につきましては、2023年3月15日に公表した年間配当金4円の修正はございません。

(注) 上記の予想は、本日時点において入手可能な情報や予測等をもとに算定しており、今後の感染拡大の影響や消費動向等により、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。今回の予想について修正が必要となる場合は、速やかに開示いたします。

以 上